支え合いのまちづくり推進会議

令和５年度　地域包括ケアシステム構築に向けた主な取組について

資料５

１.普及啓発の取組

（１）地域包括ケアシステムの普及啓発の取組【地域ケア推進課、多摩市民館】
ア　多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアＴＡＭＡ」の発行（９月、２月）
イ　区役所アトリウムでのパネル展示の実施（２月）
ウ　市政だより多摩区版特集記事の掲載（１月）
エ　地ケアフォーラム×生涯学習交流集会の開催（２月）
　　地域活動団体等による活動紹介、交流会を実施

（２）認知症の理解を深める講演会等の実施【地域支援課】
ア　小学校認知症サポーター養成講座、中学校認知症講演会の実施
イ　住民・職域向け認知症サポーター養成講座の実施

（３）医療・介護従事者の円滑な多職種連携の取組【高齢・障害課】
多摩区在宅療養推進協議会主催により、市民シンポジウムを開催（７月）
第１部　トークライブ「老親を看取るということ　～私たちの場合～」
　　出演者：紺野美沙子氏（俳優・朗読座主宰）、山口容子氏（フリーアナウンサー・ボイスコンサルタント）
第２部　パネルディスカッション「家での看取りを支える職種の紹介」
　　パネリスト：病院、地域包括支援センター、ケアマネジャー、訪問診療、訪問看護ステーション

（４）健康づくり普及イベントの実施【地域ケア推進課、地域支援課】
地域の健康づくり・介護予防団体と連携した健康づくり普及啓発イベント
多摩区健康フェスタの開催（２月）、生田緑地スプリングフェスタへの参加（３月）

（５）障害者理解への更なる普及啓発の取組【地域ケア推進課】
ア　区役所アトリウム等での「パサージュ・たま」の開催（月１，２回 ※８月除く）
　　９月～１１月の期間（各月１回）、ＪＲ登戸駅改札前において開催
イ　多摩 SDC における区内障害者団体等の作品の常設展示及び販売
ウ　パサージュ・たま事業及び出展団体の活動紹介映像の作成、各所での放映

（６）地域の子育て情報・子育て支援活動等の発信等【地域ケア推進課、地域支援課、保育所等・地域連携担当】
ア　多摩区地域子育て情報 BOOK の発行
イ　多摩区こども相談窓口案内の発行
ウ　多摩区子育て応援メッセージ（たまっ子ノート）の発行
エ　子育て支援に係る講演会の開催（１２月）

２．多摩区特定健診等のデータを活用した健康づくり・介護予防

多摩区の現状や地域特性を把握し、地域特性に合わせた啓発を実施することで住民に３つの生活習慣（毎日の飲酒、運動習慣なし、就寝前２時間以内の食事）改善に向けた高血圧予防へ向けの意識を高める。更に、健康づくり推進連絡会議等を通じて**企業や関係機関が同じ方向に向かって取組む**ことで、**効果的、効率的に健康づくり・介護予防を推進できるよう連携する。**

ア　主に４０歳から７４歳の特定健診受診者対象を中心とした世代への普及啓発を行い、
　　予防行動への動機づけを媒体（シティマップナビタや血圧手帳）を活用して実施する。
イ　高血圧割合の高い重点３地区（菅、登戸・中野島、生田）から全５地区へ普及を拡大し、
　　地域での出前講座を通じた積極的なアプローチにより、高血圧予防を意識し行動する住民を増やす。
ウ　普及啓発リーフレット（血圧手帳）の改訂・発行（９月）

３．子ども・子育て関連事業

（１）こどもの外遊び事業
「外遊び」を通じて子どもの生きる力を育み、創造力を培うと共に、地域での人のつながりづくりを促す「こどもの外遊び交流」を推進することを目的に、外遊びイベントを開催（年４回）。

（２）子育て支援者養成事業
地域の様々な子育て支援活動・多世代交流活動で活躍できる支援者の養成を行うため、連続講座を開催（９回）。

（３）子育て支援パスポート事業
多摩区商店街連合会と連携し、子育て世帯への声かけや見守りなどといった子育て家庭の支援等を目的に子育て支援パスポートを発行。

４．各地区の地域づくりの主な取組（概要）

（１）登戸地区
●のぼりとミーティングに係る取組の実施
のぼりとミーティング関係団体にヒアリングを実施し、「活動紹介ハンドブック」を更新するとともに、これまでに収集した情報を整理し、マップに落とし込むことで「見える化」した。また、登戸区画整理事務所と連携し、のぼりとミーティングの知名度向上や新規団体の加入を目的に、昨年度に引き続き「登戸・遊園ミライノバ　ハレの日」に出展した。

（２）菅地区
●地ケアつながりプロジェクト　～TeamSUGE～の実施
令和４　年度から令和６　年度の３ヵ年スケジュールで取組を進めている。昨年度は、菅地区内の様々な団体や組織で活動・従事されている方と、地域の困りごとや心配ごとから、地域の課題を改めて見つめ直し、地区内のあらゆる資源を知るための現地ツアーを実施し、地域資源をかけ合わせたアイデア（地ケ算）を出し合った。今年度は、10 の「地ケ算」を新たに創出した。<地ケ算例>公園を起点としたゆるやかな多世代交流、かおりたま北てくてくカフェ

（３）中野島地区
●中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会の開催や「子フェス（防災イベント）」に出展
平成２８年度から平成３０年度まで東京都健康長寿医療センター研究所と協定を結び、多世代で支え合うまちづくりを目的とした協議会の運営、あいさつ運動、ポール de ウォーク講座などの取組を実施してきた。今年度、協議会でたてた課題（スローガン）に向けて、取組を紹介するホームページの制作を行い、梨のキャラクターについて、より愛着を持って親しんでもらうため、名前の募集及び選考を行った。

（４）稲田地区
●カフェながお活動支援や緑化センターまつりに出展
稲田地区は、宿河原、長尾、堰の大町会と小規模町会で構成されており、３つの地域ごとに働きかけを行ってきた。
長尾地域では、「カフェながお」にて保健師による講話を実施し、宿河原地域では、川崎市緑化センター主催の「緑化センターまつり」に出展し、堰地区では、町会と地域の状況把握のため、継続してヒアリングを実施した。

（５）生田地区
●町内会等へのヒアリングの実施や介護予防等を通じた地域づくり
各町会の活動や課題、町会間の連携や関係性をヒアリングし、地域資源や地域課題を把握し、地域づくりの基礎資料とした。ヒアリング内容を踏まえ、地域資源の分布や課題をマップに落とし込み、見える化する取組を継続する。また、高血圧予防の講話やシニア向けスマホ教室の開催など介護予防や情報格差対策を通じた地域づくりを行った。

５．川崎市地域見守りネットワーク事業

（１）新聞販売店や生協などの民間事業者などと連携し、日常の業務の中で住民の異変に気づいた場合に、市へ連絡していただき、必要な支援を行うなど、地域社会全体で見守る体制を確保し、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援することを目的とした事業。　※通報件数　１３件（令和５年１月～１２月）